

謝罪の危険



東郷 潤

電車の中で、間違っ隣の人の足に傘を突き刺してしまいました。



大変です！ 刺された人が怒ってます。

すぐに謝ろうと思いました。 でも・・・



そしたら損害賠償を請求されるかも。



あるいは犯罪者にされるかも。



善悪で歪む世界で 謝罪は、とても危険です。

俺が悪いんじゃない。
揺れた電車が悪い

なんだとお!?



だからといって、怒りとセットになった謝罪が無ければ、痛みの共有も予防もできません。我々の社会を支える、見えない信頼も消えて行きます。



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019